

春蘭

文責 校長 草野和代



令和2年3月30日
最終特別号



今日は三月三十日（月）。昨日の雪が屋根や木の枝に残っている景色を、校長室の窓から眺めながら、「春蘭」の最終特別号を編集しています。雪の少ない冬が過ぎ、福島市の開花宣言がなされた直後の積雪。最近の気候は、本当に分からないものです。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のため、日常生活にまで大きな制約がかかる中、岩根小学校の子どもたち、保護者や地域のみなさんは、この状況をしっかりと受け止め、落ち着いた毎日を過ごして下さっています。本当にありがたいことだと感謝しています。

今回の人事異動で、岩根小学校からは十四名もの教職員が転出・退職することになりました。本来であれば、「離任式」により、子どもたちや保護者の皆様にきちんと挨拶をして離任するものですが、今回の異動ではそれが叶いませんでした。「いつの間にか学校からいなくなるというのかもしれないかなあ」とは思っていたのですが、PTA会長さんから「何か一言を」とお声掛けいただき、「それでは、こんな形で」と、「最終特別号」を発行させていただくことにしました。みなさんの手に届く時には、新しいメンバーで新年度が始まっているので、少々差し出がましいかと思いますが、お許しください。

転出・退職教職員から

○ 今回、定年退職することになりました。岩根小学校で六年間、元気で明るい子どもたちと過ごすことができました。保護者の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。
養護教諭 橋本 克美

○ 岩根小学校での三年間は、毎日がとても楽しく充実していました。愉快でかわいい子どもたちが毎日遊んでくれたり、事務室でいろんな話を聞かせてくれたりしたから……。そして、そんなかわい子子どもたちを育てくださるPTAの方々から……。別れの言葉は嫌いなので言いません。また会いましょう。お元気で。
主査 伊藤 輝一

○ 保護者の皆様、四年間大変お世話になりました。春蘭一組の担任をしたときも、一年一組を担任したときも、いつも子どもたちの活動を支え、見守ってくださり、とても心強かったです。ありがとうございました。
岩根小学校のみなさん、優しいさは世界を変えます。優しい心と笑顔を育てて、たくさんの人を幸せにできる人になってください。ずっと応援しています。
藤田 希

○ 二年間大学院に行って勉強してきました!! 勉強って楽しいですよ!! そして大切です! 時々勉強をしながら岩根小に来るので、一緒に勉強がんばりましょう!! 楽しみましょう!!
山本 雄太

○ 素敵な出会いがたくさんあった三年間でした。岩根小の素直で元気いっぱいの子どもたちに囲まれて過ごした日々は、とても充実したものでした。三年間お世話になりました。ありがとうございました。
渡邊 貴子

○ 三年間でしたが、お世話になりました。たくさん遊んで、たくさん学ぶ、そんな充実した日々を送れる岩根っ子になってください。作田 真美

○ 二年間という長いようで短い日々でした。新三年生になるみなさんとの二年間は、とても楽しく一緒に成長することができてよかったです。ありがとうございます。二年間大変お世話になりました。
菊地 真耶

○ 岩根小学校は、担任を持つ初めての小学校となり、とても思い出に残る場所となりました。保護者の皆様、岩根小学校のみなさん、二年間お世話になりました。本当にありがとうございました。
今井 拓海

○ 岩根小学校で、いろいろな思い出ができました。子どもたちが素直に育つことを祈ります。一年間ありがとうございました。
尾形 さとみ

○ 私のお気に入りの言葉を贈ります。「100点は無理かもしれない。でも、MAXなら出せるやろ。」(松本人志) 安齋 秀喜

○ 岩根小学校のみなさん。短い間でしたがお世話になりました。これからも勉強や運動がんばってください。ありがとうございました。
渡邊 順絵

○ 元氣あふれる子どもたちへ 夢にときめけ! 明日にきらめけ! G○岩根っ子 支援員 佐々木 俊彦

○ 入学、進級おめでとう! 遊びに勉強にがんばってください。 用務員 高橋 良和

○ 中身のぎっしり詰まった三年間でした。子ども達の内面に寄り添い、かわり合う大人たちがしっかりと手を携えることの大切さを学びました。子どもも大人も、自分の存在の意味を知ること、自分の役割を主体的に果たすこと、それが何よりも大切です。
「岩根っ子」が、優しい心で明るくのびのびと、自分の夢に向かって成長していくことを、心より願っています。
校長 草野 和代



岩根小学校での三年間、私が大事にしてきたことは、「チーム岩根」です。平成二十九年四月に着任した際に、教職員に伝えました。

子どもたちの笑顔のために、教職員の「チーム力」を生かしながら様々な課題に取り組み毎日。そこで切実に感じたことは、『「チーム岩根」は岩根小学校教職員だけのものではない』ということでした。

「連携」という言葉は、ずっと前から言われています。これまで私が勤めてきたどの学校でも、「学校・保護者・地域の連携」を大切にしてきました。しかし、今振り返ってみますと、私自身がその意味をしっかりと理解して取り組んでいたがどうか疑問が残ります。そして、この岩根小学校で、「連携」の意味を問い直し、再確認し、実感できたと感じています。

「連携」は、決してきれいな事で片付けられることばかりではありません。カッコいいことばかり並べ立ててもむなしさが残ります。現実を直視し受け入れること。現状を的確に捉えてそこから始まること。そこで行う連携の中で、「自分は」何ができるかを考えること。コミュニティ・スクールに向けての取組を通して、子どもたちを支える保護者や教師の在り方を語り合った「保護者会」を通して、さらには、日々の保護者や地域のみなさんとの語り合いの中で、「本物の連携」を一つ一つ実感することができました。ありがとうございました。

四月から、新しい「チーム岩根」での教育活動が始まります。「コミュニティ・スクール」としての第一歩を踏み出します。まずは、あらゆる機会に、色々なところで、子どもに関わる「世間話」をする。そして、大人たちが仲良くなることです。大人たちの笑顔が子どもたちを安心させ、それがコミュニティ・スクールの揺るぎない基盤となることを信じます。

三年間、大変お世話になりました。皆様のご協力とご支援に心より感謝いたします。